



全国初!! 大学生による 里親・里子支援サークル

里親家族の笑顔と成長のために
～支援の輪をつなげよう～

里親・里子支援サークルの目的

近年、社会保障のひとつである里親制度（家庭的養護）の占める割合が増大している。しかし、里親は一般家庭で児童を養育する形態であり、様々な困難が予測される。そのため、里親を支援する機関や団体が求められている。しかし、数はごく少なく美作地区にはない。そこで、学生による里親支援団体を立ち上げ、学生による里親支援を行うこととした。具体的には、里親をはじめ、公共機関や専門職等が参加する定例会議を開催し、検討・確認を行いながら里親支援を実施している。様々な交流行事を行うことにより、団体や個人とのつながりを強め、**里親制度の認知の向上、里親・里子支援ネットワークの形成を支援**していく。また、学生は実際に里親や里子にかかわることにより、社会福祉の臨床を体験することができ、社会福祉専門職としての価値観や倫理観を実践的に学ぶことができる。



具体的な活動

月1回里親、児童養護施設職員、里親相談支援専門員、学生等で「サポーターズ会議」を持ち、活動を計画・実施している。主に美作地区里親の会の行事（里親サロン、里親研修会、交流行事）の支援を行ってきた。また、サークル独自の活動としては、大学を使つてのレスパイトケア、交流キャンプ、クリスマス会等を行っている。

サークル立上げのきっかけ

大学で美作地区里親会の会長さんからお話を伺う機会があり、その中で里親の実情を知った学生の中から、里親・里子に協力したいという申し出があり、里親・里子支援サークル（美作里親・里子サポーターズ）が生まれた。

学生たちの学び

児童相談所の職員、児童養護施設の職員、里親支援専門相談員、里親や里子との交流、ケース会議や研修会等への参加があり、支援の必要な子どもたちを取り巻く環境を体験することができる。児童福祉関係職員を将来目指していく学生にとって、その基盤を形成するよい機会となっている。

